

# 青木まさしは目指します。

会派自由民主党  
市政報告  
2021年新春号

2020年12月議会において、10年前の市議会議員として初当選以来、多くの市民の方々からご要望をいただきおりました大和駅周辺の整備(子育て施設・公園整備)などについて、具現化してきました内容の一部を紹介させていただきます。

大和駅周辺の整備について、やまと公園とそれに隣接する旧商工会議所、青少年センター跡地に関わる基本構想、整備に関連して質問をし、明らかになったことは、



## ■旧青少年センター跡地の保育施設等の整備状況について

本市の中心となる大和駅に至近であることや小田急線の車窓から見え、本市の魅力を多くの人にPRできる立地であることから、**子ども・子育て支援の中核的な施設**として様々な機能を有した公私連携型保育所を整備すること。

子育て支援施策に力を入れる本市の象徴となるような建物や様々な事業が効率的、かつ一体的に実施でき、レイアウトなどを公募し、整備事業者を選定。建物のデザインは、子供たちが親しみやすく、わくわくしながら通えるような**子供のお城をイメージ**した外観とともに、施設内については、保育士等の意見を参考にしながら、**子供たちが安全かつ快適に過ごせる**ように設計しており、本年2月末の竣工に向けて順調に工事を進めています。

## ■協定に基づいて実施する事業について

社会福祉法人県央福祉会を公私連携保育法人として指定し、実施する事業について市と基本協定を締結しております。

実施する事業について、ゼロ歳児から2歳児を対象にした低年齢児型保育所の運営をはじめ、幼稚園を対象にした**送迎ステーション事業**や働く保護者の状況に合わせて、**午後8時まで預かる延長保育事業**を行い、そのほかにも、看護師を配置し、この施設を利用する児童を対象にした**体調不良児対応型病児保育事業**、市内の認可保育所等を利用する児童を対象に、**年末年始も対応可能な休日保育事業**を実施します。

子育て支援としては、施設に訪れた市民が気軽に利用できる**育児相談事業**や1日8時間まで預けられる**一時預かり事業を年中無休で行う**とともに、2階部分では地域の親子の交流促進を図る**地域子育て支援拠点事業**を運営します。公私連携型保育所では子育て世代を支援する様々な事業が実施され、本市では初めて、**年間を通じて一日も休むことなく運営される保育施設**となるため、職員配置や事業の実施、手法などにおいて、民間事業者のノウハウが生かされ、市民サービスの向上と効率的かつ効果的な運営が図れるものと捉えています。

## ■公私連携型保育所の定員規模などについて

ゼロ歳児から2歳児までの低年齢児型保育所の定員を60人としており、幼稚園に通いながら利用する送迎ステーション事業で60人、一時預かり保育と休日保育事業でそれぞれ20人の利用が可能となっております。今回、公私連携型保育所で実施する一時預かり事業は、預かり時間が長く、食事の提供をするなど利便性が向上している。

## ■公私連携型のメリットについて

公私連携型保育所は、民間事業者のノウハウを活用し、**効率的かつ多角的な運営**ができるとともに、開所後も市が定期的に事業の実施状況を確認しながら、必要な助言や指導を行うなど、市の関与を続けることができる制度となっております。実施される様々な事業について、国の補助制度を活用することで、財政的な負担を軽減できることが大きなメリットである。

## ■旧商工会議所、市民活動センターの跡地利用の進捗状況と

### 今後の整備内容について、及びやまと公園の整備について

**やまと公園を拡張し、一体的に整備**することで、大和駅周辺のイメージアップを図りたい。やまと公園は大和駅に近く、小田急線の車窓からよく見えることから、大きな**芝生広場や休憩所**のほか、**子供に人気の遊具等を設置し、誰もがつい足を向けたくなる**ような魅力的な公園となるよう整備を進めてまいります。現在、公園改修整備の実施設計を進めている。樹木や既存施設の撤去、造成工事については本年1月より着手しています。

やさしい・活力ある大和を  
地域でのコミュニティを大切に  
大和市議会議員 青木まさし



青木まさし  
ホームページ QRコード

#### ■意見要望として

本保育施設は、子ども・子育て支援の中核的な施設として、様々な事業をより利用しやすく進化させた機能を有した公私連携型保育所として整備。子育て施策の集大成とも言える本事業は、本市で初めてとなる年間を通じて一日も休むことなく、365日休業なしで運営される今までにない魅力を備えた保育施設であり、子育て世代への市民サービスの向上と魅力的な保育メニュー や効率的で効果的な運営が図られることから、熱い視線と多くの期待が寄せられています。

大和駅前で子育て環境の充実を図ることは、魅力あるまちとして、子育て世代の定住や市外からの転入を促し、今後の世代間バランスの確保につながるものと捉えています。本市の魅力をさらに高めていくように力を入れて取り組まれることを要望。

公私連携型保育所の2階部分では、大地震などの発生時に生後2か月までの赤ちゃんと母親が過ごすことのできる専用の避難所**赤ちゃんまもるくん3**を特定指定避難所として開設されるということです。赤ちゃんの命を守るために施設として十分な対応ができるよう要望。

新しい公私連携型の施設の名称について、子供から親しまれるような、そして、希望や未来などを想像できるような名称や愛称、幾年たっても普遍的な名称を。公私連携型でのメリットを最大限生かせるように、創意工夫を凝らして取り組んでいくことを強く要望。将来を見据えた大和市の子育て施策の新たな象徴として、速やかな事業の具現化を。

本保育施設は**本年4月開所**予定です。

ぜひ多くの市民の方に利用していただきたいと思います。  
近隣自治会や駅前商店会、商工会議所など地域の方々との協力連携  
の下、令和4年度にリニューアルオープンするやまと公園とともに  
小さいお子さんから高齢者までが集え、笑顔があふれ、ホッとでき  
る市民の憩いの場とすること。などについて意見を要望しました。



イメージ図

#### ■ その他の質問として

## ■ その他の実例として ○小中学校における防災に関する取組について

大和市学校防災マニュアルの改定を行い、防災訓練の意義や方法に関して大きく見直し、学校防災に対する意識の向上と防災教育のさらなる充実に取り組んでいます。様々な災害ケースを想定した訓練や、地域性を考慮しながら学校独自の学校防災マニュアルを作成するよう指示しており、教職員の防災に対するさらなる意識向上のため、全小中学校において防災研修を行い、災害時における学校の役割や防災教育の進め方について周知しており、今後も学校防災体制の強化及び実践的な防災教育の推進に向け支援してまいります。

#### ○防災意識の高揚への取組について

多くの方が防災を身近なものと感じてもらうことを目的に実施する防災フェスタにおいて、市消防本部のファットバイクや救助工作車、神奈川県警の災害対応用活動車、陸上自衛隊の偵察用バイク、神奈川県企業庁大和水道営業所の応急給水車などの特殊車両を展示するとともに、それぞれのブースで車両の説明やパネルを使い、活動の紹介を各関係機関と調整しながら、実施してまいりたいと考えております。

### ■意見要望として

関東大震災から100年近くが経過し、これから地震の活動期に入ると指摘されています。

児童生徒たちは学校で被災する可能性が最も高いと考えます。

児童生徒たちの安全対策、災害対策は、日頃から意識し、今すぐにでも、学校、地域、保護者を交えたより実践的な訓練は必要です。災害時に使用する資機材など、校長はじめとする学校職員全員、そして、防災に携わる方が、何が保管され、その取扱いができるようにならなければなりません。

医療従事者をはじめ、エッセンシャルワーカーの方々、高齢者施設を含む福祉施設などの従業員や利用者へのPCR検査の実施とリスクを理解された希望者へのワクチン接種が必要と考え、早期実現に向け取り組むこと。

ウイルス感染や感染拡大を未然に防ぐためには衛生管理がとても重要で、公衆衛生に特化したチームを庁舎内に編成し、事案に対し関係部署へ助言を行い、**即応（即対応）**を行うこと。

などについて意見を要望しました。

詳しくは、動画にて確認できます。◆一般質問動画：<http://www.yamato-citystream.ifit.co.jp/>

- ◆ご意見・ご要望はメールでも受付中：info@fujishouji.co.jp
  - ◆市議会の詳細はホームページをご覧ください。
  - ◆青木まさしホームページアドレス：<https://www.aoki-masashi.jp/>

**青木まさし 連絡先  
〒242-0021  
大和市中央1-1-18  
TEL 046-262-2166**